

水道分野における課題

- 給水人口減少 雇用人口減少 事業統合/広域化 施設老朽化 ライフスタイルの変化 その他

課題に対するニーズ

利用者の利便性を向上に向けたデータ活用

参考にする他分野ICT技術

活用例:	遠隔通知・訪問サービス・外出帰宅情報通知・防犯		
アンケート結果:	総合23位(12票), 事業体委員16位(7票), 企業委員27位(5票)		
課題:	ライフスタイルの変化	活用目的:	情報可視
入力情報:	設備(機器)稼働情報	入力情報の活用方法:	稼働情報の取得
出力方法:	稼働情報の取得	実施:	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実証中 <input type="checkbox"/> 将来計画
出典元:	東京電力エナジーパートナー株式会社 TEPCOスマートホーム遠くても安心プラン		

<https://www.service.tepco.co.jp/s/AnshinTooku/>

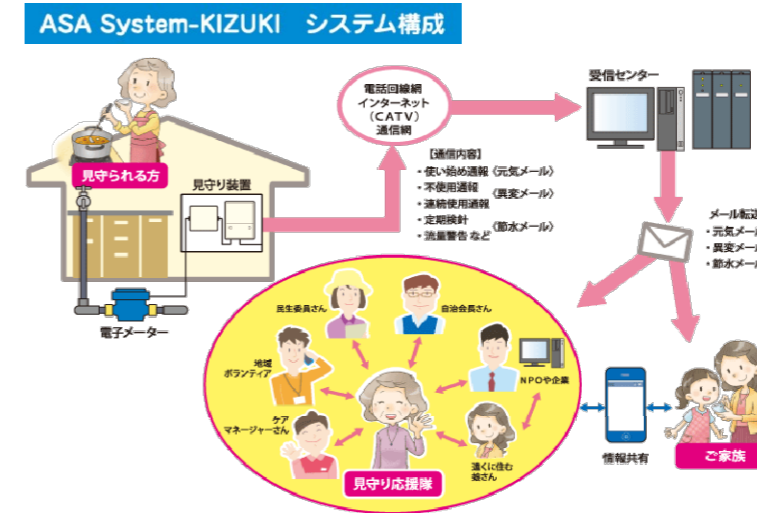
現在～最新ICT技術の動向調査

【現在の技術】

東洋計器 株式会社

水道による見守りサービス「ASA System-KIZUKI」

<https://www.toyo-keiki.co.jp/service/watch/water.html>

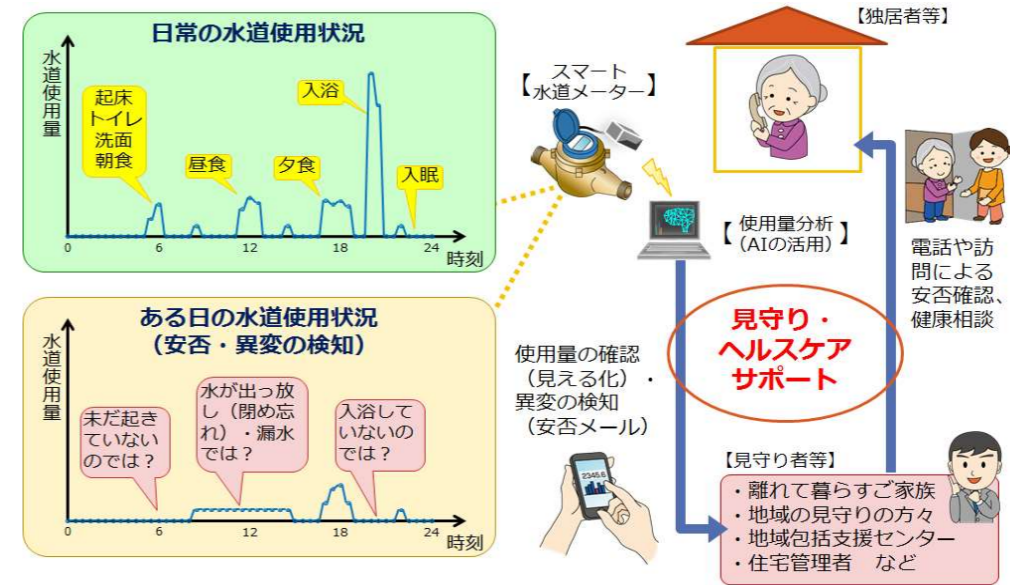


【最新技術】

大阪市水道局

水道使用量データを活用した「見守り・ヘルスケアサポート」の導入に向けた実証実験

<https://www.city.osaka.lg.jp/suido/page/0000454260.html>



新たな管網管理手法の検討

No.	ICT技術の活用目的	入力情報の活用方法	必要な入力情報/収集機会
①	異常検知	漏水検知	解析 リアルタイムの使用量 常時
②	見守りサービス/遠隔通知	需要把握、生活実態の把握 水量変動から住民の状況を把握 住民の生活状況を把握	解析 解析 解析 水使用実態 水使用実態 水使用実態 リアルタイム水使用量 定期 定期 定期 常時
③	状態把握	安否確認	解析 リアルタイム水使用量 常時

期待される効果

異常の早期発見
水使用状況データの活用
節水意識の向上
他事業との連携

- ①②
③
③
②

実現に向けた課題

データの取得頻度
個人情報保護・取り扱い
スマートメータの整備

ハード
制度
ハード

ICT技術の進化に求めるもの

全ライフラインの情報を一元化して、各ライフライン事業者へ発信できるシステムの構築
電気・ガス・電話などのインフラが連携し、確度の高い見守りが可能となること。